

物価高を意識して1ヶ月生活してみてわかったこと

1. 序

近年、原油及び小麦相場の高騰により、日本におけるモノの相場は無視できないほどに上昇してきている。著者である私もよく買い物をするのだが、日々着々と上げられてゆくモノの値段について大きな危惧を感じており、この機会に自らのショッピングスタイルを深く見つめなおすことで、物価高に対して一般消費者はどのように対処すればよいかという事を考え始めた。

まずここでは、始めの一步として、食費節減による対策モデルを提案する。家計支出に対して Engel 係数という係数が定義されるように、家計に対する食費、換言すれば家庭に対する食の重要性は非常に大きい。食そのものの質を落とすことは生活にとってつらいかもしれないが、一方、食費を削ることで還元される利益は決して小さくはないだろう。そこで、私が考えた食費節約の method をここに記す。

2. 本論

2.1 食事はジャガイモのみで済ます

私の編み出した節約生活ではジャガイモが重要な軸を担うこととなる。ジャガイモの利点は、腹もちがよく、国産が流通の主たるため値上げ時代に強いことだ。相場としては、1Kg で高々300円、1日300g も食べれば空腹は満たされるだろう。多く見積もって1日5個食べるとしても、その食費は150円/日だ。

しかし、ジャガイモはそのまま食べても味気ないし、調味料が欲しいところ。ここでは調味料としてマヨネーズを使いたい。マヨネーズは植物油と酢と卵黄からできているため、ジャガイモに無いものを補うことができる。特に酢は体に良い。

キューピーのマヨネーズは1Kg 700円である。1Kg あれば1ヶ月程度は十分使えそうだが、ここでは1ヶ月2本の使用を見込もう。これは日換算すると1日50円となる。

つまり、ジャガイモをマヨネーズで食べていれば高々200円/日の食費で済む。

2.2 飲料は安売りの2Lボトルを

2.1では主食にフォーカスを置いたが、ご存じのとおり人間には水分も必要である。節約するなら水道水を飲むのが一番なのだが、最近の都市部などでは、飲料は買って飲むという風潮が一般的になっているため、飲料は最低限買う事を考える。もちろん、普段水道水

を飲んでいる方々はあえて買う必要はない。より一層の節約に励んでほしい。

さて、飲料の購入方法であるが、ここがポイントである。飲料は2Lのペットボトルで、安く売っているものを買うこと。具体的には~170円が好ましい。スーパーやホームセンターでは、大手メーカーのお茶やスポーツドリンクの一部を150~170円で売っていたりするし、味にこだわらなければ100円ショップに100円の2Lペットボトルがある。1日あたりの飲料費が100円以下になるよう調整したい。これは割と容易に可能だと思われ、のちのち節約分が地味に効いてくる部分だ。

たとえば、この飲料費を500mlペットボトル150円で同じ量をまかなう時の金額と比較すれば、200円/日 6000円/月の節約となり、大きな節約であることが分かる。

2.3 総額計算

ここまでつらつらと考えを書いてきたが、結局いくらになるのかということは知っておきたいところだろう。

いま、2.1、2.2でいくつかキーとなる商品をあげた。

- ・ジャガイモ
- ・マヨネーズ
- ・2Lペットボトル

の3つ。これらを買う事でかかる費用をそれぞれ1日あたりX、Y、Z[円]とすると、1日当たりの食費K[円]は係数がすべて1であるX、Y、Zの線形結合で表されることが容易に理解できる。すなわち、

$$K = X + Y + Z \dots(2.3.1)$$

の式が成り立つ。これに値を代入すれば $K=300$ [円]となり1日あたりの食費は求まる。さらにこの生活をn日続けた際の総額(平均値)S[円]は、

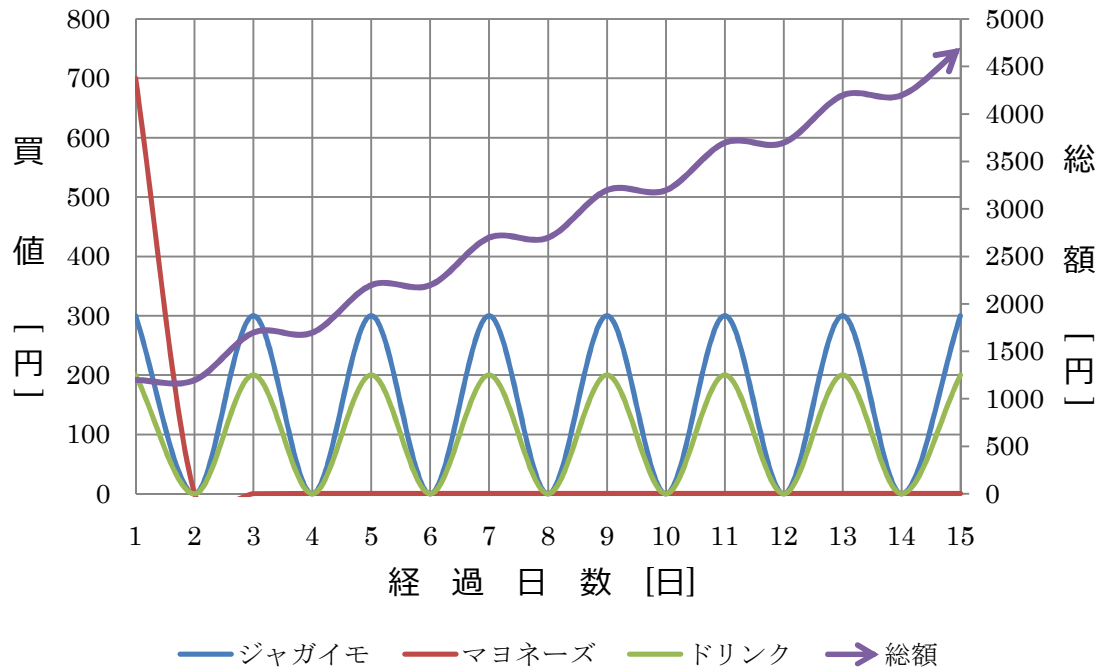
$$S = nK \dots(2.3.2)$$

と表せる、一ヶ月(30日)過ごした場合の総額(食費/月)は $S=9400$ [円]。

つまり理論上では、この方法で生活を行った場合、1ヶ月の食費が1万円以内で済むのである。これは一般的に、節約したと言っても謙遜ない額であろう。

ところで、食品の購入周期を考慮した際の支出推移を連続曲線で描くと図2.1のようになる(実際には離散的なグラフとなるので注意)。16日目にマヨネーズを購入すると総額がどのように変化するか考えてみよ。

図 2.1 日数に対する食費の推移



3. 結

以上が私の考える食費節約術であったが読者諸君はどう思っただろうか。正直体に悪いとか、机上の空論だとか言う人がほとんどなのかもしれない。しかしおおらかに受け止めてほしい。これは数ある食費節約術のほんの一例に過ぎない。諸君はこれらの数ある論を吸収し、改良してより一層素晴らしい考えを提案することのできる可能性を持った。今は家の中にこもって母親に寄生している無職に過ぎないかもしれないが、その考えが認められた時には世界がうらやむ真人間へと昇華せらるのだ。

青年よ希望を持ち卑屈になることなく籠れ 今聖者のプレリュードが聞こえる。
 これが荘厳に唄い継がれるか、それとも自らを慰める鎮魂歌で終わるかは諸君次第。
 天空に昇るチャンスに出会ったら今一度鑑みよ。もしもそのときにこのプリントが一瞬でも心にとまってくれたら著者にとってそれ以上の幸せはない。